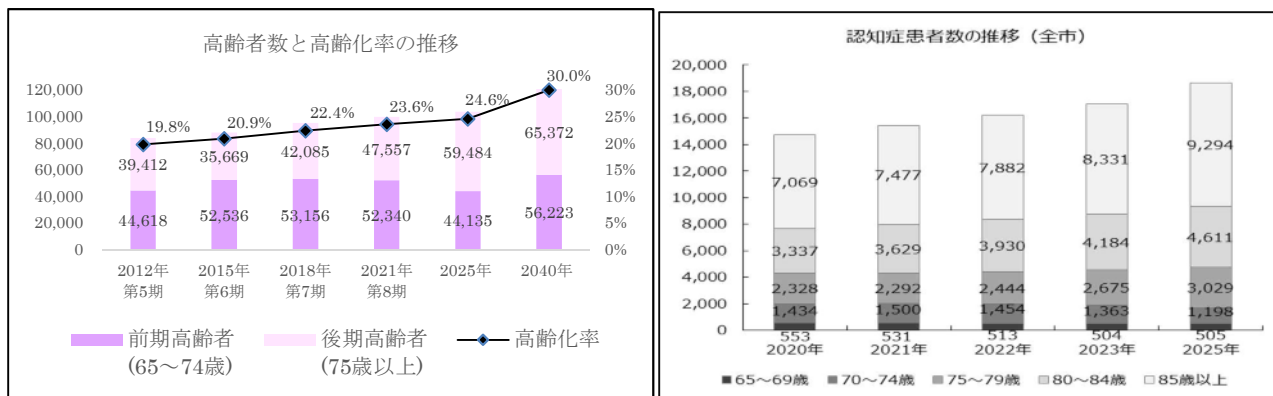


今後の高齢者施策の推進と敬老金贈呈事業の見直しについて（協議事項）

1 見直しの基本的な考え方

- ・超高齢社会への適応として、認知症対策や介護予防、健康寿命の延伸などの取組がますます重要となる。
- ・敬老金贈呈事業については、社会の長寿に対する概念の変化を踏まえ、見直しを図る。
- ・また、今後の高齢者施策は、限られた財源を援助が必要な人をより手厚く支援する「支える福祉」や「高齢者の生きがいにつながる活動の促進を支援」する施策に充て、福祉の充実を図っていく必要がある。
- ・現在策定中の「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」においては、「社会参加」、「地域共生」、「認知症支援」を重点施策とし「**本当に支援が必要な方に手厚く支援を行う。**」ことで福祉の充実を図る。



2 敬老金贈呈事業 現状及び将来推計

【現制度における贈呈対象者及び贈呈金品】

対象基準	贈呈金額等	贈呈方法	贈呈記念品	贈呈方法
満80歳・満85歳	5,000円	口座振込	敬老祝いメッセージカード 社協お祝い品（タオル）	民生委員 訪問
満90歳・満95歳	10,000円			
満99歳	なし	市職員訪問	敬老祝いメッセージカード 市お祝い品、社協お祝い品	市職員訪問
満100歳以上	30,000円			

【将来推計】（現行制度を継続した場合）※R1までは実績値、R2以降は見込み

	H12年	H30年	R1年	R2年	R5年	R10年	増減 R1→R10
給付対象者（人）	1,953	5,956	6,135	7,149	7,691	10,651	+4,516
贈呈額（千円）	11,835	40,355	41,150	47,250	50,495	69,095	+25,886

3 見直し（案）

【見直し（案1）】現金給付の廃止

【見直し（案2）】満100歳の方に30,000円を「長寿祝い金」として贈呈（対象者数は、令和2年7月1日）

年齢	対象者	予算額
満100歳	75人	2,250千円

令和元年度贈呈額 41,150千円
削減額 38,900千円

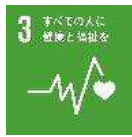
【見直し（案3）】満88歳に5,000円、満100歳の方に30,000円を贈呈

年齢	対象者	予算額
満88歳	1,471人	7,355千円
満100歳	75人	2,250千円

令和元年度贈呈額 41,150千円
贈呈予定額合計 9,605千円
削減額 31,545千円

所管案 【見直し（案2）】100歳は特別であり、その到達を国も祝うことから、市としても祝意を示す。

<現金給付以外のサービス提供>（例）お祝いメッセージカード



4 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（R3～R5）の主な事業（案）

■＝裏面掲載事業

分野	施策	主な事業（案）
地域共生	(1) 市民理解の促進	□学校教育における高齢者の理解促進 【拡充】 □出前講座の実施
	(2) 市民参加の支え合い	□豊田市ささえあいネット 【拡充】 □お元気ですかボランティア養成
	(3) 見守りの推進	■見守りネットワークの強化 【拡充】
	(4) 重層的な支援	□重層的支援体制の整備 【拡充】 □地域包括支援センターの円滑な運営 【拡充】
	(5) 関係機関との連携	■在宅医療と福祉の連携強化 【拡充】 □リハビリ専門職との連携 【新規】
介護予防 健康づくり	(1) ふれあい・健康づくり	■集いの場へのコーディネート 【拡充】 □元気アップ教室
	(2) 生きがいづくり・就労支援	□高齢者の生きがいづくり支援 □とよたシニアアカデミー
認知症	(1) 普及啓発・本人発信支援	□認知症サポーター養成講座 【拡充】 □認知症本人発信支援 【拡充】
	(2) 認知症予防	□認知症の早期発見
	(3) 認知症本人・介護者への支援	□認知症カフェの推進 【拡充】 □若年性認知症本人・家族会
	(4) バリアフリーの促進と社会参加	■認知症サポーターを中心とした支援チームづくり 【新規】 ■認知症の人の社会参加の仕組みづくり 【拡充】
介護人材	(1) 介護に関わる人材支援	□マネジメント層へのキャリアアップ支援 □介護職チームケア向上支援 【拡充】 □豊田訪問看護師育成センター 【拡充】 □国内人材の創出 【拡充】
災害・感染症	(1) 災害の備え	□福祉事業所の災害体制強化策の推進 【新規】
	(2) 感染症の備え	□介護事業所への啓発・指導 【拡充】
日常生活	(1) 生活支援	□「食」の自立支援（配食サービス） □すこやか住宅リフォーム
	(2) 家族介護支援	□家族介護交流事業 □家族リフレッシュショート利用
	(3) 住まいの支援	□軽費老人ホーム □シルバーハウジング
	(4) 移動支援	□住民主体のボランティア輸送への支援 ■ひとり暮らし高齢者等移動費助成 【拡充】

5 高齢者の支援、活動の促進に関する事業

重点施策① 介護予防・健康づくりに通じる社会参加

・集いの場へのコーディネート【拡充】

事業概要 市内に点在する高齢者の集いの場をマップ化し、その情報を基に希望にあった場所を案内する。

事業効果 高齢者が社会とのつながりを持ち、生きがいを持って生活することで、介護予防等につながる。

・ひとり暮らし高齢者等移動費助成事業（タクシー料金助成）【拡充】

※現時点での所管案であり、今後交通施策全体の中で調整予定

事業概要 介護保険の認定を受けている65歳以上の単身世帯等の方の外出支援のためタクシー券を配布

拡大対象

- ①同一敷地内 = 同一敷地（隣地）に家族が住んでいるが、何らかの理由で送迎できない。
- ②昼間独居 = 家族等と同居しているが、昼間は高齢者が一人で生活している。
- ③老夫婦世帯 = 介護保険の認定を受けた方と認定を受けていない配偶者の世帯で、配偶者が自動車免許を持っていない。（家族と同居でも①、②が認められる場合は対象）

事業効果 移動手段の確保により社会参加が促進される。副次的な効果として免許返納にもつながる。

【事業予算（見込み）】 ※R1は実績値、R3は見込み

年度	現行	同一敷地内	昼間独居	老夫婦世帯	対象者数	予算額	現行との差額
R1	○				2,352人	18,816千円	
R3案	○	○	○	○	5,282人	42,256千円	23,440千円

重点施策② 地域共生を支える体制整備

・在宅医療と福祉の連携強化【拡大】

事業概要 在宅療養の更なる推進のため、豊田加茂医師会在宅医療拠点センターを中心に在宅医療の体制を強化するほか、豊田地域医療センターを拠点に訪問看護師育成や先進技術を活用した地域リハビリテーションの推進、多機関が連携した※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の推進などを実施

※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）= これからの人生をどのように生活し、どのような医療や介護を受けて、最後を迎えるのか、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組（「人生会議」とも言われる。）

事業効果 住み慣れた地域で、自分らしく生活を送ることができ、介護や支援が必要になっても「幸福度」をたかめることができる「幸福寿命」の全うにつながる。

・見守りネットワークの強化【拡大】

事業概要 様々な単位で高齢者を見守り、異常があれば、地域包括支援センター等へ情報提供を行う。

拡大対象 見守り体制の拡充

- ・登録事業者 2,344 事業所（R2.9月末）⇒2,500 事業所（R6.3月末）
- ・地域における見守り活動団体への支援

見守り情報の共有 ・ICTの活用により関係機関で情報を共有化する。

事業効果 切れ目なく見守りを行うことで安心につなげ、緊急時にも迅速な対応をとることができる

重点施策③ 社会全体で取り組む認知症支援

・認知症サポーターを中心とした支援チームづくり【拡充】

事業概要 認知症サポーターを中心とした支援チームを組織し、認知症の人やその家族を支援する。

事業効果 認知症の人や家族が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりが進む。

・認知症の人の社会参加の仕組みづくり【新規】

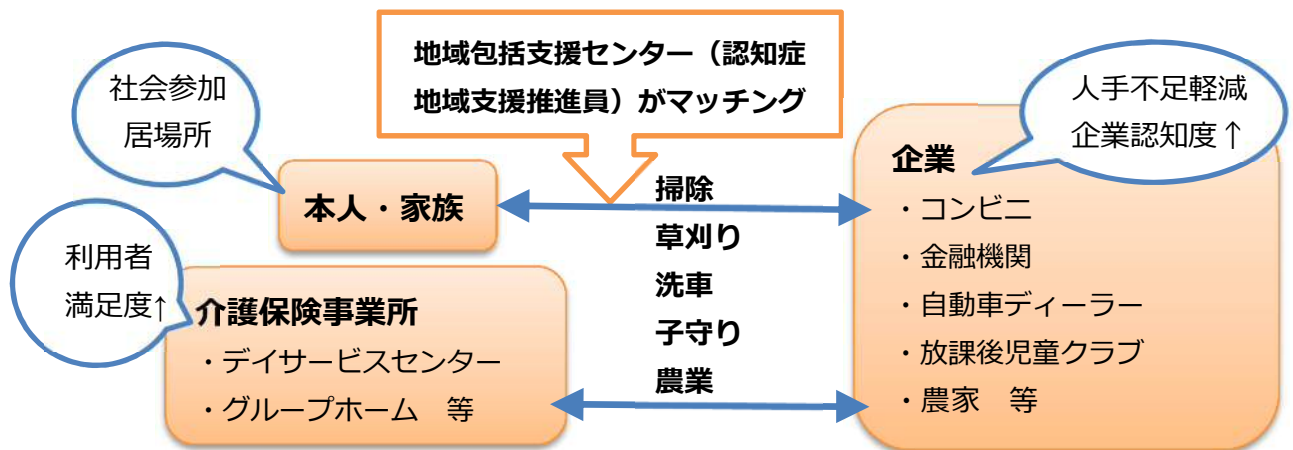
事業概要 社会参加を希望する認知症の人と企業などをマッチングし、社会参加（就労等）につなげる。

事業効果 認知症の人の特性や希望に応じた活躍の場が創出され、地域で生きがいを持った生活ができる。

【事業イメージ図】 認知症サポーターを中心とした支援チームづくり



【事業イメージ図】 認知症の人の社会参加の仕組みづくり



6 敬老金贈呈事業 参考データ

【県内中核市及び西三河各市の実施状況】（令和2年度 調査結果）

市名	敬老金
豊田市	満 80・85 歳…5 千円、90・95 歳…1 万円、満 100 歳以上…3 万円
岡崎市	数え 88 歳…1 万円、数え 100 歳以上…1 万円
豊橋市	100 歳以上…3 万円（長寿祝い金）
刈谷市	満 87・89・98 歳…1 万円、満 99 歳…3 万円、満 100 歳以上…2 万円
安城市	満 88 歳…商品券 1 万円、100 歳以上…商品券 1 万円
知立市	数え 88 歳…1 万円、数え 100 歳…3 万円
西尾市	数え 88 歳…1 万円、数え 100 歳以上…1 万円
碧南市	満 85・90・95・99 歳…1 万円、満 100 歳以上…2 万円
高浜市	実施していない
みよし市	豊田市と同一基準